

舛川会頭3選

副会頭、専務理事 再任

執行体制整え、会員減少や人材不足等に対応



新議員が出席し役員を決めた臨時議員総会。3期目のあいさつを述べる舛川会頭(写真右上)

第225回臨時議員総会が11月4日、ホテル黒部で開かれ、舛川誠会頭の3選をはじめ任期満了に伴う役員改選、定款・委員会規則の改正が承認されました。同日の第339回常議員会で常設・特別委員会の正副委員長、理事の選任なども承認され、舛川会頭3期目の新執行体制が開始しました。

定数を5人増の85人とした今回の議員改選(第34期)は、9月10日の選挙人名簿の調製から始まり、9月下旬までに会頭選出の3号議員(12人)、部会選任の2号議員(28人)が承認・選任。立候補制の1号議員(45人)は、定数通りの届出となり、10月8日、立候補者が無投票当選しました。

全85人の議員(新任13人)の確定を受け、新役員を選任する第225回臨時議員総会には新議員80人(委任17人)が出席。議員紹介のあと、議決事項として役員改選が行われました。

会頭選任では、9月の常議員会、臨時議員総会で舛川会頭が続投を表明し賛同された経緯が説明され、仮議長の主藤隆臣議員が再任を諮ったところ満場一致で承認されました。

あいさつに立った舛川会頭は、冒頭、「厳しい地域の経済情勢を考えると、責任の重さを感じるとともに、身の引き締まる思い。議員、会員の皆さまのご指導・鞭撻をいただきながら商工会議所の運営、事業推進にまい進して参りたい」と述べました。

2期目について、「2つの大きな事業と改革」として、北見経済センタービルの完成、全道商工会議所大会の27年振りの北見開催、28年振りの会費値上げ、議員の増員をあげて振り返りました。

3期目について、地域企業が抱える経営課題、近年、廃業による年間退会が30件程度に上っている状況などを説きながら、「会員の声にしっかりと耳を傾けながら中小・小規模事業者に対する伴走型支援をより一層進めていかなければならない」とし、①深刻な人手不足対策(企業による出前講座、企業見学会等)、②企業の稼げる環境づくり(域外・本州への販路拡大、輸出関係のセミナー開催等)、③企業の維持・存続(創業支援・事業承継等)を柱に取り組むことを表明しました。

また、若手議員の起用(新任)について「活性化に大きな役割を果たしてくれると思う」と期待を寄せました。

このあと、舛川会頭から副会頭に河合昭徳氏、片山隆文氏、永田裕一氏専務理事に服部浩司氏の再任が提案され承認。

定款(常議員の2人増)と委員会規則の改正(税務労政委員会の人材・労務委員会への改称、特別委員会として会員拡大委員会の新設、常議員28人(新任9人)の選任、監事に戸田龍一氏、西田篤史氏の再任、阪田裕氏の新任が承認されました。

新役員・議員の任期は令和10年10月31日まで。
(担当 酒井正則)